

第27回日本医療薬学会年会

日本薬科機器協会 ワークショップ プログラム・受講申込書

会場：幕張メッセ・展示ホール8（展示会場内）

開催日	開催時間	発表タイトル	会社名
11月3日 (金・祝)	10:00～ 11:00	YWS-1 「注射抗がん剤自動調製装置の最新導入事例」 倉敷中央病院にて2017年4月からAPOTECA chemo®の運用を開始しました。日本の民間病院では初の導入です。 入院・外来共に自動調製を行い、その実績から下記キーワードを中心に発表致します。 ・DVOへの対応 ・外来化学療法での活用 ・装置の導入効果 参加者の方々と、有意義な意見交換の場となれば幸いです。	倉敷中央病院薬剤部 (株)S&Sエンジニアリング
11月3日 (金・祝)	13:30～ 15:30	YWS-2 抗がん剤調製支援システムを活用した新人薬剤師への教育実習 薬剤師や学生の教育を目的として、抗がん剤ミキシング業務に利用している抗がん剤調製支援システムに教育用の機能を追加しました。ワークショップでは、調製動画などの案内に従って、模擬薬による抗がん剤調製作業の実例実習を行います。さらに、新開発した陰圧モニタリングシステムをご体験いただくことが可能です。	東北大学病院薬剤部 三田理化工業(株)
11月4日 (土)	10:00～ 11:30	YWS-3 抗がん薬の調製効率とDVOをロボット調製も含めて考える 前回の本学会では、抗がん薬の調製について一日分のリアルなデータに基づいて、抗がん薬混合調製ロボットと薬剤師間においてどのように割り振れば、最大効率化が図れるかをワークで探ってみました。今回のワークショップではその観点を踏まえながらも、①現在のところ病院の大半を占める混合調製ロボットの未導入先、②昨今、医療の枠を超えて社会的な話題にまでなっている残液の問題＝DVOという新たにふたつのファクターを加えることで、より実態を鑑みた観点を取り込んだうえで参加の先生方と一緒に考えていきたい。	神戸市立医療センター 中央市民病院 横浜栄共済病院 (株)湯山製作所

受講申し込み

FAXまたはE-mailでお申し込みください。
 FAX番号：03-3407-9557 E-mail:info@nyk.gr.jp

年会の参加登録者が対象です。
 事前申し込みの締め切りは **10月30日(月)** です。
 当日、会場でも受け付けております。
 予定された受講者数を超えた場合、受講をお断りする場合がありますことをご了承ください。

希望講座番号：

(講座番号：YWS-○ 複数申込み可)

氏 名：

所属施設：

住 所：

連絡先：

E-mail：